

能は歌舞(謡と舞)を中心に構成された演劇です。シテ(主人公)は神、武将の霊、草木の精、鬼など様々で、
節(メロディ)を付けた「謡」を語り、哀しいや嬉しいといった感情表現の場面では「舞」を舞います。
狂言は中世の口語による会話劇です。おっちょこちょいな人や偉ぶった人が現れ、
現代の私たちが見ても笑ってしまうような風刺劇がたくさんあります。

狂言「^{ほん さん}盆山」

盆山とは盆の上に日本庭園を再現した箱庭のようなもの。中世に流行しました。盆山をたくさん所有している有徳人の屋敷に盆山好きの男が盗みに入ります。夕暮れの暗いなか奮闘しながらも盆山の並ぶ座敷にたどり着きます。しかし盗人の気配に気づいた有徳人に見つかってしまい散々に懲らしめられます。この懲らしめ方が狂言らしく楽しい見どころです。

能「^{は ごろも}羽衣」



「羽衣」 ©公益社団法人能楽協会

舞台は春の三保の松原(静岡県)。漁師の白龍(はくりょう)が、松の枝に掛かった美しい衣を見つけ、家宝にしようと思い持ち帰ろうとします。そこへ天女が現れ、「それは天人の羽衣です。それがないと天に帰れません」と涙ながらに訴えます。

最初は疑っていた白龍も、彼女の悲しむ姿に心を打たれ、「天上の舞を見せてくれるなら返そう」と約束します。「衣を返したら、舞わずに帰ってしまうのでは?」と疑う白龍に、天女は「疑いは人間にあり、天に偽りなきもの(疑うのは人間の心で、天の世界に嘘はありません)」と答えます。

白龍が取じて衣を返すと、天女は美しい舞を披露しながら、富士山を越えて空の彼方へ帰っていきます。欲深い人間と清らかな天女の対比、そして「信じる心」の尊さを描いた、幻想的で美しい物語です。

第21回 高校生のための能楽鑑賞会

◆狂言「^{ほん さん}盆山」シテ(盗人) 小西 玲央

◆能「^{は ごろも}羽衣」シテ(天人) 齊藤 信輔

令和8年7月19日(日) 14時開演(13時半開場) ※16時半終演予定

参加無料 大槻能楽堂

但し、申込みが必要となります

【対象】高校生および引率教員(教員のみでは参加は出来ません)

【定員】220名先着順

【申込方法】右下のQRコードを読み取りいただきお申込みください
後日メールにてご連絡申し上げます

※QRコードが読み取れない方は下記【お問い合わせ先】までお知らせください

●氏名 ●学校名 ●連絡先(メール)を明記の上、お申込みください

学校単位でのお申し込みは

●学校名 ●教員名 ●参加人数 ●連絡先(メール)を明記ください

参加お申込みは
こちらから



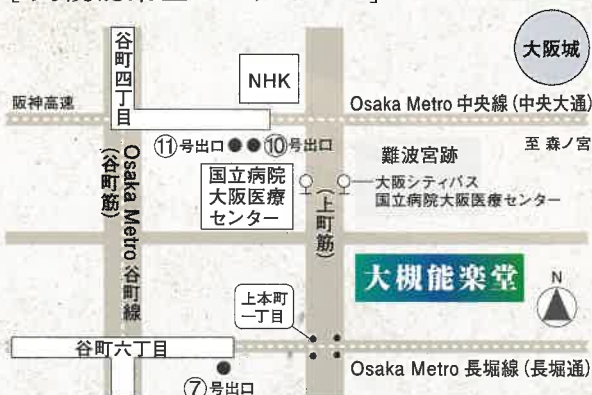
【申込受付期間】

令和8年6月22日(月)～7月17日(金)

【お問い合わせ先】

koukousei.nougaku@gmail.com

【大槻能楽堂へのアクセス】



- Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、
⑩号出口を出て南へ約300m。(⑩号出口にエレベーターあり)
またはOsaka Metro谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車、
⑦号出口を出て北へ約350m。(⑦号出口にエレベーターあり)
- 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」バス停下車、南へすぐ
*「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫前」行き乗車
*「あべの橋」から62号系統「大阪駅前」行き乗車

◆◆◆ 申込みいただきました方には「入場証」をお送りしますので、パソコンからのメール受信可能な環境でお待ちください ◆◆◆

本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします